

# シバキープエースシャワー

実際に使用する際は必ず商品ラベルをよく読み、記載内容に従ってお使いください。

農林水産省登録 第 23502 号

農薬の名称 シバキープエースシャワー

農薬の種類 アシユラム・MCP P 液剤

## 成分

- ・ アシユラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0.10%  
[ N<sup>o</sup>-メトキシカルボニルスルファニルアミドナトリウム]
- ・ MCP P・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0.20%  
[  $\alpha$ -(2-メチル-4-クロロフェノキシ)プロピオン酸カリウム]
- ・ 水等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99.7%

性状 淡黄赤色澄明水溶性液体

## 適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数※
日本芝 (こうらいしば)	一年生雑草 多年生広葉雑草	芝生育期 (雑草生育期： 草丈 10 cm 以下)	100 ~ 200 ml/m <sup>2</sup> (原液散布)	雑草茎葉 散布	本剤、 アシユラム 及び MCP P を 含む農薬  3 回 以内
	スギナ	春夏期芝生育期 (雑草生育期： 草丈 10 cm 以下)			

※は本剤及び本有効成分を含む農薬を、年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示す。

■キャップをあけて、原液のまま規定量を雑草の茎葉全体にしっかりとかかるように散布します。

効果・薬害等の注意

- 雑草の発生後、生育期（草丈10cm以下）に茎葉に均一に散布する（効果）
- 一年生イネ科雑草に対しては効果発現まで時間を要するので、草丈が大きくなる前に使用する（効果）
- 散布後の降雨は効果を減ずるので、天候を見定めてから散布する。
- 高温期や異常乾燥時または芝生が弱っている時には使用しない（薬害）
- 萌芽期の散布は黄化や生育の遅延を生じる場合があるので、使用量を誤らないように注意する（薬害）
- 植え付け後や更新作業後の根が傷んでいる時期には使用しない（薬害）
- 草花、植木等周辺の植物にはかからないように注意して散布する（薬害）
- 西洋芝には使用しない（薬害）
- 水源池等に本剤が飛散・流入しないように十分注意する。
- 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 散布器具、容器の洗浄水（及び残りの薬液）は河川等に流さず、空容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 使用量、使用時期、使用方法を守る。

安全使用上の注意

- 散布時は、農薬用マスクなどを着用する。作業後はうがいをする。[マスク着用マーク]
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意。
- 公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後（最小限その当日）に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。

保管・・・・・・・・密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所。

横にしないで立てて保管する。